

2020年筑波大学附属高等学校とのボートレース対校戦の中止について

本年は、対校戦が始まった1920年以来、ちょうど100年を迎えるという記念すべき年でしたので、両校関係者一同、輝かしい歴史を記念する本年のボートレース対校戦開催を強く待ち望んでおりました。

当初の予定では、4月18日（土）に開催されることになっておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3月30日の両校校長間協議の結果、期限を定めず延期を決定し、両校の関係者に通知しておりました。

以降、新型コロナウイルス感染の状況を見ながら、両校の関係者で開催の可能性について協議を進めてきました。しかしながら、5月になっても都内の深刻な感染状態は継続し、生徒の部分登校が開始できたのは、両校とも6月1日からという状況でした。そして両校とも、6月下旬または7月になって、ようやく部活動を始動できる状況となっています。

練習を十分に行わず、対校戦を実施することは、思わぬ事故や怪我を誘発する危険性があるため、7月中の対校戦開催は困難であると、両校協議のもと、判断されました。また、8月から9月の夏期開催についても、現在艇庫利用やコース等の練習環境整備が遅れていることに加えて、ボートレースが短時間の激しい運動を伴うことから、練習・レース本番にて、熱中症を誘発する危険性があり、回避すべきであるとの判断になりました。

さらに、秋以降の開催可能性についても検討いたしましたが、新型コロナウイルス感染の第2波、第3波の流行の危険性が指摘される中、十分な練習のもと、生徒が安全に対校戦に臨むことが困難であり、大会の実施は避けるべきであるとの判断にいたりました。

以上の状況判断に基づき、100周年の記念すべき対校戦でしたが、最終的に両校校長間で協議の結果、断腸の思いで、中止を決定いたしました。

歴史ある筑波大学附属高等学校とのボートレース対校戦へ情熱を注いで準備していた生徒の皆さん、並びに観戦と応援を楽しみにしていた生徒の皆さん、ご家族、OB、その他関係者の皆さんには、本当に残念な連絡ですが、是非ご理解いただくようお願いいたします。

開成中学校・高等学校
校長 野水 勉